

器官制御医学講座／泌尿器科学分野 附属病院／泌尿器科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	横山 修	平成14年5月～
准教授	伊藤 秀明	平成18年7月～(平成27年4月～現職)
講師	青木 芳隆	平成5年5月～平成8年6月、平成16年4月～(平成27年3月～現職)
		平成9年5月～平成11年3月、平成13年7月～平成15年3月、平成17年4月～平成19年3月、平成21年4月～平成23年9月、平成25年4月～(平成27年5月～現職)
講師	松田 陽介	
助教	福島 正人	平成28年6月～
助教	土山 克樹	平成17年4月～平成20年3月、平成22年4月～平成24年3月、平成24年8月～平成26年9月、平成30年4月～
		平成18年4月～平成21年3月、平成23年4月～平成25年1月、平成25年4月～(平成26年10月～現職)
助教	多賀 峰克	
助教	関 雅也	平成19年4月～平成22年3月、平成24年4月～(平成28年4月～現職)
助教	稲村 聡	平成19年4月～平成22年3月、平成24年4月～平成27年3月、平成28年5月～(平成29年4月～現職)

2. 研究概要

研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門

1-1) 尿路上皮がんに関する研究では、糖鎖である硫酸化シアリルルイスX (sLeX)が膀胱尿路上皮細胞に発現し、血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの結合能を有することを明らかにした。これは硫酸化sLeXを発現する循環細胞が血管内皮と接着し癌の転移に関与する可能性が示唆された。一方、膀胱間質に糖鎖である硫酸化シアリルルイスX(sLeX)を発現するHEV様血管が誘導されていることが明らかにした。一部は腫瘍細胞の近傍に位置しリンパ球の浸潤を伴っていた。リンパ球の中には細胞障害性Tリンパ球も含まれており、腫瘍免疫に関与している可能性がある。またシアリルルイス抗原は膀胱癌以外にも腎癌や上部尿路癌、前立腺癌など他の泌尿器科癌でも発現することが報告されている。前立腺癌や腎癌においても同様に糖鎖マーカーの有用性を検証した。

1-2) すべての糖鎖は血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの接着能を有し転移に関与することが示唆されている。糖鎖の足場蛋白の一つとされるMUC1蛋白の発現も糖鎖発現に関与しており、その足場蛋白の発現と糖鎖発現ひいては腫瘍細胞の悪性度/転移能に関して検討を行った。

1-3) 細胞死に関わるオートファジーの誘導が癌治療のストラテジーとして注目されている。一方でオートファジーは種々のストレスに対する細胞の防御反応ともなることが知られている。また、蛋白をコードしていないmicroRNA(miRNA)が、mRNAに干渉することで遺伝子発現を調整する働きを持つことが報告され癌治療への応用が期待されている。miRNAうちmiR-204が腎癌細胞においてオートファジーを誘導することが報告された。miR-204の発現制御によってオートファジーを誘導することが腎癌治療にどのような効果をもたらすのかを解明することが進行腎癌に対する治療の一助となると考えられ、研究を行っている。

- 2) 腎臓部門

家族内発生の先天性水腎症の原因遺伝子として分化制御因子Id2を中心に、その遺伝子変異解析を行った。

- 3) 下部尿路機能部門

3-1) メタボリック症候群モデルとしてOLETFラット、高血圧の病態モデルとして食塩感受性高血圧ラットを用いて、蓄尿障害発生メカニズムや、β3アゴニスト、phosphodiesterase 5 inhibitor (PDE5i)の作用メカニズムについて検討を行った。その結果、OLETFラットには膀胱血流障害が存在し、PDE5iはその血流障害を改善すること、また膀胱上皮由来のメデイエータであるATPの放出を抑制することで蓄尿障害を改善させる可能性があることを報告した。また食塩感受性高血圧ラットにも膀胱血流障害が存在し、膀胱上皮由来のメデイエータであるATPプロスタグランジンE2の放出亢進がみられた。β3アゴニストは食塩感受性高血圧ラットの膀胱機能を改善させる可能性が示唆された。

3-2) これまで心理ストレスはラットにおいて性行動障害を惹起することを報告してきた。その仲介を果たすのが副腎性アンドロゲンであった。これを発展させ、心理ストレスによって増加する視床下部室傍核由来の副腎皮質刺激ホルモン放出因子 (CRF) に注目した。最近になりCRFの受容体が膀胱にも存在することが明らかとなっている。これまでストレス負荷ラット膀胱にもCRFが増加していることを報告したが、その生理的意義については不明であった。これまでにCRFは膀胱収縮自体には影響しないが、CRFR1を介してM3受容体に何らかのシグナルを出してムスカリン収縮を増強させることが解明された。またこれが蓄尿障害発生の1つの機序となっている可能性が示唆された。

3-3) 前立腺肥大症における炎症の果たす役割。前立腺肥大においてHEV様血管が炎症細胞浸潤に関与しているが、この血管数は下部尿路機能障害の臨床パラメータとよく相関することを報告した。すなわち前立腺の間質における炎症は下部尿路症状と関連するがその背景に前立腺の虚血が存在する可能性があり、解析・報告を行った。

3-4) 抗コリン薬は膀胱知覚C線維を抑制し夜間多尿を改善することを報告してきた。他の抗コリン薬やC線維を抑制する他剤ではどうか、また交感神経が関与するかについて研究を行なっている。また、高齢者に多い脳血管障害や前立腺肥大症、さらには脊髄疾患に伴う過活動膀胱に焦点を当てて神経生理学的、分子薬理学的研究を行なった。下部尿路機能障害については製薬企業との共同研究が盛んで、薬剤作用機序の解明、新たな疾患モデルの開発など積極的な取り組みを行っている。

3-5) 福井県の住民健康調査を行っている施設や人間ドックの施設と協力して受診者に質問票を渡して疫学的調査も行っている。メタボリック症候群や生活習慣病と下部尿路症状、特に夜間頻尿とは密接な関連があることが疫学調査の結果から解明された。福井県の人間ドックの施設と協力して受診者に質問票を渡して疫学的調査を行った。生活習慣病としての糖尿病、その前段階としてのHbA1cの異常はLUTSと関連あることが解明された。

- 4) 性機能部門

4-1) 性機能部門は、臨床的には勃起障害 (ED) 外来・男性更年期障害外来にて多数の患者の診療を行った。

4-2) OLETFラットに対しPDE5iを投与することで性行動障害が改善することを報告した。この改善にはテストステロンの上昇とエストラジオールの低下を伴っており、PDE5iが内分泌環境を調整している可能性が示唆された。

- 5) 排尿ケア部門

5-1) 排尿自立指導料が保険収載され、慢性期病院を中心に尿路管理法の見直しがなされると期待されるが、福井大学附属病院の関連病院を中心に、泌尿器科が常勤ではない施設でも、不必要な尿道カテーテル抜去を系統的に行えるように、看護師主導でできるクリティカルパスを作成し、カテーテル留置率を下げるか否かについて、prospectiveな研究を行なった。その結果、パスに従い、残尿量をパラメータとして効率よくカテーテルが抜去できることが解明された。

5-2) 長期尿道カテーテル留置患者における様々なトラブル対策を行っている。具体的には、カテーテル閉塞の危険因子解析、閉塞に対するクランベリージュースの予防効果、カテーテルの形状や材質による閉塞度合の差、などについて、関連病院の要介護度の高い患者を対象に調査を行っている。

キーワード

- 1) 泌尿生殖器の腫瘍、糖鎖、オートファジー
- 2) 泌尿生殖器の疾患の治療、腎移植、分子メカニズム
- 3) 泌尿生殖器の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、ガイドライン
- 4) 泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、心理ストレス、性機能障害、下部尿路機能障害
- 5) 排尿自立指導、長期留置、感染、閉塞

業績年の進捗状況

特色等

- 1) 糖鎖マーカー、オートファジーに注目し、泌尿生殖器癌の研究を行っている。
- 2) 女性下部尿路症状診療ガイドライン、二分脊椎に伴う下部尿路機能障害の診療ガイドライン改訂版の作成委員として、また間質性膀胱炎・膀胱痛症候群診療ガイドライン、脊髄損傷における下部尿路機能障害の診療ガイドラインの評価委員としても活躍した。現在、夜間頻尿診療ガイドラインの作成にもとりかかっている。
- 3) 当部門の特色として性行動障害などの性機能障害を下部尿路機能障害、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。また、本邦ではまだ十分な調査が行われていない女性性機能に関する疫学調査も行っており、下部尿路症状との関連性も見出している。
- 4) 現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは不必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら行う画期的な取り組みである。”

本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科疾患を有する患者も急増している。
尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害など QOL 疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。
特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。”

3. 研究実績

区分		編数	インパクトファクター（うち原著のみ）
		2018年分	2018年分
和文原著論文		8	—
英文論文	ファーストオーサー	1	3.234 (3.234)
	コレスポンディングオーサー	1	3.234 (3.234)
	その他	0	0 (0)
	合計	1	3.234 (3.234)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1841001

Inamura S, Ito H, Shinagawa T, Tsutsumiuchi M, Taga M, Kobayashi M, Yokoyama O: Prostatic stromal inflammation is associated with bladder outlet obstruction in patients with benign prostatic hyperplasia., Life Sci, 78(10), 743-752, 201807, DOI: 10.1002/pros.23518, #3.234

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

1841002

伊藤 秀明：腎移植について，福井県臓器移植推進財団，201807

b. 著書（分担執筆）

1841003

横山 修、伊藤 秀明、青木 芳隆、松田 陽介：（編集）株式会社じほう（監修）日本薬剤師会：下部尿路症状の治療の選択肢，株式会社じほう，11-17，20180801

1841004

多賀 峰克、関 雅也、横山 修：前立腺肥大症に対するCorticotropin releasing factor (CRF)の影響，グラクソ・スミスクライン株式会社，126-127，20190201

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1841005

横山 修、伊藤 秀明、青木 芳隆、松田 陽介、福島 正人、多賀 峰克、関 雅也、稲村 聡：糖尿病と夜間頻尿，睡眠医療，12(1)，79-84，20180330

1841006

松田 陽介：国際学会からの報告 EAU2018，排尿障害プラクティス，26(1)，74-79，20180625

1841007

稲村 聡：前立腺の慢性炎症と下部尿路症状-高内皮細静脈HEV-like vesselによる慢性炎症の定量化と下部尿路症状との関連-，排尿障害プラクティス，26(1)，80-82，20180625

b. 原著論文（審査無）

1841008

多賀 峰克、品川 友親、小林 久人、堤内 真実、稲村 聡、松田 陽介、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修：金属尿管ステント交換時の工夫，泌尿器科紀要，64(5)，251-251，201805

1841009

糸賀 明子、青木 芳隆、堤内 真実、稲村 聡、松田 陽介、伊藤 秀明、横山 修：精巣胚細胞腫瘍における晩期再発症例の臨床的検討，泌尿器科紀要，64(5)，253-253，201805

1841010

稲村 聡：【臨床編】ヒト前立腺組織を用いて炎症と下部尿路機能障害との関連を考える，排尿障害プラクティス，26(2)，50-51，20181225

1841011

横山 修：慢性前立腺炎/慢性骨盤痛症候群(NIH分類カテゴリーⅢ)に関する意識調査，排尿障害プラクティス，26(2)，4-12，20181225

1841012

福島 正人、横山 修：腹圧性尿失禁の診断と治療，臨床 婦人科産科，73(1)，80-86，20190110

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

1841013

堤内 真実、青木 芳隆：下部尿路機能障害 腹圧性尿失禁，Uro-Lo:泌尿器Care&Cure，23(3)，305-307，201806

1841014

横山 修、伊藤 秀明、青木 芳隆、松田 陽介：下部尿路症状の治療の選択肢，調剤と情報，24(11)，1559-1565，201808

1841015

青木 芳隆、岡田 昌裕、伊藤 秀明、日下 幸則、横山 修：前糖尿病段階と過活動膀胱の関係，日本排尿機能学会誌，29(1)，197-197，201809

1841016

堤内 真実、青木 芳隆：排尿自立指導の現状 排尿自立指導と地域連携，Uro-Lo:泌尿器Care&Cure，23(6)，673-677，201812

1841017

横山 修：女性の健康にまつわる新語辞典，White，6(1)，90-91，201805

1841018

青木 芳隆、大内 ふみか：女性下部尿路症状に対する生活指導と理学療法，泌尿器外科，31(11)，1505-1510，201811

1841019

横山 修：前立腺肥大に伴う夜間頻尿について考える，Pharma Medica，36(5)，71-77，201805

- 1841020** 青木 芳隆、糸賀 明子：メタボリックシンドロームと下部尿路症状, Uro-Lo:泌尿器Care&Cure, 23(2), 224-231, 201804
- 1841021** 横山 修：学会好事 13th Pan-Pacific Continence Society, Urology Today, 26(1), 58-59, 20190228
- 1841022** 伊藤 秀明：泌尿器科診療Q&A特集 LUTSに影響を及ぼす生活習慣病について, LUTS, 10(5), 3-3, 20180914
- 1841023** 横山 修：学会好事 第31回日本老年泌尿器科学会, Urology Today, 25(3), 48-19, 20180831
- 1841024** 横山 修：OASIS Projectの結果に見る生活習慣病と夜間多尿, KISSEI KUR, 11(3), 19-20, 201807
- e. 国際会議論文**
- (B) 学会発表等**
- (1) 国際学会**
- a. 招待・特別講演等**
- 1841025** M.Fukushima: Diagnosis and Treatment of female voiding dysfunction -Diagnosis part-, PPCS2018, 花蓮(台湾), 20181020
- 1841026** O.Yokoyama: What should we treat OAB patients in the era of antimuscarinics, beta-3 agonist and botox, PPCS2018, 台湾, 20181019
- 1841027** O.Yokoyama: Male Sling, bulking Agent or others, PPCS2018, 花蓮(台湾), 20181020
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- c. 一般講演 (口演)**
- 1841028** 青木 芳隆: Potential role of pre-stage diabetes in the development of overactive bladder: Analysis of a health screening program in men and women, IUGA43rd Annual Meeting, vienna(AUT), 20180630
- 1841029** AOKI Y, OKADA M, ITO H, KUSAKA Y, YOKOYAMA O: A RELATIONSHIP BETWEEN PRE-DIABETES AND OVERACTIVE BLADDER-ANALYSIS OF A HEALTH-SCREENING PROGRAM IN MEN AND WOMEN-, ICS2018, Philadelphia(USA), 20180828
- 1841030** INAMURA S, ITO H, TSUTSUMIUCHI M, TAGA M, TSUCHIYAMA K, MATSUDA Y, AOKI Y, KOBAYASHI M, YOKOYAMA O: SERUM C-REACTIVE PROTEIN LEVEL IS NOT ASSOCIATED WITH THE PROSTATIC INFLAMMATION BUT OVERACTIVE DETRUSOR IN PATIENTS WITH BENIGN PROSTATIC HYPERPLASIA, ICS2018, Philadelphia(USA), 20180828
- 1841031** KUROKAWA T, NAGASE K, MATSUTA Y, AOKI Y, YOKOYAMA O: DOES SALT RESTRICTION RECOVER URINE STORAGE DYSFUNCTION IN SALT-SENSITIVE RATS?, ICS2018, Philadelphia(USA), 20180808
- 1841032** Seki M, Zha X-M, Ito H, Aoki Y, Matsuta Y, Taga M, Inamura S, Yokoyama O: Role of corticotropin-releasing factor on bladder function in rats with psychological stress, EAU 2019, Barcelona(ESP), 20190317
- 1841033** M. Fukushima: Diagnosis, PPCS2018, 台湾, 20181020
- 1841034** O.Yokoyama: Silodosin-The Differential Effects of A New Novel Uro-selective Alpha Blocker, 27th Malaysian Urological Conference, Kuala Lumpur(MYS), 20181122
- d. 一般講演 (ポスター)**
- 1841035** Yoko Ishimoto, Shingo Kasamatsu, Naomi Emori, Kazufumi Sato, Hironobu Akino: Application for surgical instruments individual identification code(GSI-Datamatrix) to sterilization management system, 7th World Congress of Clinical Safety, Bern, Switzerland, 20180907
- 1841036** Hironobu Akino, Yoshimi Kuwabara, Kazuyo Terasaki, Masako Fujii, Ayumi Inoue, Miyuki Uno, Kimiko Kitahama: What increased the incident reports from doctors in our hospital?, 7th World Congress of Clinical Safety, Bern, Switzerland, 20180907
- 1841037** 稲村 聡: Benign Prostatic Hyperplasia Basic Research & Pathophysiology, AUA2018, 20180519
- e. 一般講演**
- f. その他**
- (2) 国内学会 (全国レベル)**
- a. 招待・特別講演等**
- 1841038** 青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修：前糖尿病段階と過活動膀胱の関係-住民検診受診者を対象とした横断研究-, 第25回日本排尿機能学会, 名古屋市, 20180928
- 1841039** 横山 修、秋野 裕信：女性過活動膀胱において高血圧は尿意切迫感、切迫性尿失禁の頻度増加に関係する(OASIS Project 2), 第25回日本排尿機能学会, 名古屋市, 20180928
- 1841040** 横山 修：福井県住民健康診査・OASIS Project解析から見えてくるLUTS患者像, 第25回日本排尿機能学会, イブニングセミナー, 名古屋市, 20180928
- 1841041** 横山 修：夜間頻尿～最近の知見から～生活習慣病との関連, 第25回日本排尿機能学会, 教育セミナー, 名古屋市, 20180927
- 1841042** 横山 修：血流障害と下部尿路機能障害 臨床, 下部尿路先端教育セミナーin九州, 福岡市, 20180726
- 1841043** 横山 修：女性における生活習慣病とOABの気になる関係, 第20回日本女性骨盤底医学会, ランチョンセミナー, 東京, 20180721
- 1841044** 横山 修：Male Lutsにおける炎症の新しい展開, 第7回 Young Urologist Forum in Osaka, 大阪市, 20180720
- 1841045** 横山 修：排尿で人を元気にする方法～排尿障害を病院医療から在宅医療の現場までつばさにみて～, 第18回日本Men's Health 医学会, 男性の排尿障害をこう直す, 東京都, 20180714
- b. シンポジスト・パネリスト等**
- 1841046** 青木 芳隆：夜間頻尿診療における未解決点, 第106回日本泌尿器科学会総会 教育セミナー, 京都市, 20180419

業績一覧

1841047 松田 陽介: 福井大学附属病院における5年間の重症尿路性器感染症患者の検討, 第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180419

1841048 松田 陽介: 神経変調療法の基礎的研究, 第25回日本排尿機能学会, 難治性過活動膀胱の最新治療, 名古屋市, 20180927

1841049 伊藤 秀明: 高齢者に対する手術適応を考える, 第31回日本老年泌尿器科学会, 福井市, 20180511

1841050 横山 修: 排尿自立指導 エビデンスに基づいた包括的排尿ケアの実施・評価, 第16回アジア泌尿器科学会/第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180420

c. 一般講演 (口演)

1841051 青木 芳隆, 糸賀 明子, 堤内 真実, 横山 修: 急性期から慢性期までの排尿自立指導: 施設による違いとその要因, 第31回日本老年泌尿器科学会, 福井市, 20180511

1841052 堤内 真実, 伊藤 秀明, 小林 久人, 稲村 聡, 関 雅也, 多賀 峰克, 山内 寛喜, 松田 陽介, 青木 芳隆, 横山 修: 当院における高齢去勢抵抗性前立腺癌に対するドセタキセル療法の検討, 第31回日本老年泌尿器科学会, 福井市, 20180511

1841053 青木 芳隆, 笹村 栄治, 木村 知行, 糸賀明子, 横山 修: 排尿ケアにおけるリリアム α -200の有用性: 残尿測定におけるカテーテル導尿との比較, 第68回日本泌尿器科学会中部総会, 性機能・外傷・排尿, 名古屋市, 20181004, 228

1841054 松田 陽介: 「難治性OAB」, 第12回下部尿路機能先端教育セミナー, 六本木, 20180707

1841055 稲村 聡, 伊藤 秀明, 堤内 真実, 多賀 峰克, 土山 克樹, 小林 基弘, 横山 修: 血清CRP値と前立腺の慢性炎症ならびに下部尿路症状との関係, 第68回日本泌尿器科学会中部総会, 名古屋市, 20181004, 294

1841056 多賀 峰克, 小林 久人, 稲村 聡, 関 雅也, 土山 克樹, 福島 正人, 伊藤 秀明, 横山 修: 当院におけるロボット支援腎部分切除術の初期経験, 第68回日本泌尿器科学会中部総会, 腎癌RAPN, 名古屋市, 20181004, 245

1841057 福島 正人, 関 雅也, 糸賀 明子, 堤内 真実, 横山 修: 当院における腹腔鏡下陰仙骨固定術後のQOL変化について, 第31回日本老年泌尿器科学会, 福井市, 20180511

1841058 多賀 峰克: 高齢者尿路結石のオーバービュー～疫学から治療選択肢まで～, 第31回日本老年泌尿器科学会, 福井市, 20180511

1841059 稲村 聡, 伊藤 秀明, 谷尾 信, 小林 久人, 堤内 真実, 多賀 峰克, 土山 克樹, 横山 修: Dutasteride投与が前立腺の慢性炎症に及ぼす影響, 第25回日本排尿機能学会, 名古屋市, 20180929

1841060 So Inamura, Hideaki Ito, Manami Tsutsumiuchi, Minekatsu Taga, Katsuki Tsuchiyama, Motohiro Kobayashi, and Osamu Yokoyama: Serum C-reactive protein level is not associated with the prostatic inflammation but overactive detrusor in patients with benign prostatic hyperplasia, Nagoya Shinshu Forum 2018, Nagoya, 20180929

1841061 稲村 聡: 前立腺肥大症における慢性炎症と下部尿路症状の関係, 第25回日本排尿機能学会, 教育セミナー, 名古屋市, 20180927

1841062 糸賀 明子: タダラフィルはメタボリック症候群ラットにおいて血中テストステロン濃度を上昇させ、性行動を悪化させない, 第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180420

1841063 稲村 聡: 前立腺の慢性炎症のマーカーとして血清CRP値は有用か?, 第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180421

1841064 関 雅也: 心理ストレスが下部尿路機能に及ぼす影響-ムスカリンM3受容体とCorticotropin Releasing Factorの関与-, 第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180421

d. 一般講演 (ポスター)

1841065 青木 芳隆: 過活動膀胱はメタボリック症候群の一側面なのか?, 第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180420

1841066 多賀 峰克, 稲村 聡, 関 雅也, 土山 克樹, 福島 正人, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 横山 修: 当院におけるロボット支援前立腺全摘除術200例の検討, 第32回日本泌尿器内視鏡学会総会, ロボット/前立腺・成績2, 仙台市, 20181127

1841067 宇野美雪, 寺崎和代, 井上歩美, 北浜紀美子, 後藤伸之, 秋野裕信: 注射用デクスラゾキサラン投与の検討と院内体制, 第5回日本医療安全学会学術総会, 東京, 20190209

1841068 井上歩美, 小久保安朗, 寺崎和代, 宇野美雪, 稲井邦博, 北浜紀美子, 秋野裕信: 院内転倒患者における転倒危険度評価と転倒原因, 第5回日本医療安全学会学術総会, 東京, 20190209

1841069 寺崎和代, 井上歩美, 宇野美雪, 桑原宜美, 藤井真砂子, 稲井邦博, 秋野裕信: 転倒転落発生時の頭部打撲の現状—頭部CT撮影推奨前後の実態調査より—, 第13回医療の質・安全学会, 千葉市, 20181125

1841070 堤内 真実: 当院の去勢抵抗性前立腺癌患者に対するドキタキセル療法の検討, 第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180421

1841071 多賀 峰克: 当院における高齢結石患者に対する治療状況, 第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180421

1841072 土山 克樹: 当院緩和ケア病棟を利用した泌尿器癌患者の検討, 第106回日本泌尿器科学会総会, 京都市, 20180419

e. 一般講演

f. その他

1841073 青木 芳隆: 下部尿路症状から前糖尿病を探る～疫学調査からみたその可能性～, 第25回日本排尿機能学会, 教育セミナー, 名古屋市, 20180928

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 招待・特別講演等

1841074 横山 修: 過活動膀胱の最新の知見～夜間頻尿も含めて～, 第23回Shnshu LUTS Meeting, 松本市, 20190309

1841075 横山 修: 過活動膀胱の最新の知見～夜間頻尿も含めて～, 第8回岩手県泌尿器科医会, 盛岡市, 20181117

1841076 横山 修: 過活動膀胱の最新の知見～夜間頻尿も含めて～, 第27回奈良排尿障害研究会, 大阪市, 20181027

1841077 横山 修: 生活習慣病の乱れとLUTS、ED, 第29回日本性機能学会学術総会, モーニングセミナー, 神戸市, 20180914

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

- 1841078** 谷尾 信、土山 克樹、大江 秀樹、稲村 聡、関 雅也、多賀 峰克、福島 正人、松田 陽介、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修：アミノレプリン酸による蛍光膀胱鏡下経尿道的膀胱腫瘍切除術を施行した1例，第460回日本泌尿器科学会北陸地方会，金沢市，20180623
- 1841079** 松田 陽介、兜 貴史、堤内 真実、関 雅也、福島 正人、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修：福井大学附属病院における5年間の腎盂腎炎入院患者の検討，第460回日本泌尿器科学会北陸地方会，金沢，20180623
- 1841080** 堤内 真実、青木 芳隆、横山 修：「介助導尿における親水性コーティングカテーテルとネラトンカテーテルの比較検討」，第31回北陸排尿障害研究会，金沢市，20180701
- 1841081** 土山 克樹、小林 久人、松田 陽介、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修、黒川 哲之、島田 憲次：Gartner管嚢胞に開口した異所性尿管の1例，第461回日本泌尿器科学会北陸地方会，症例報告1，金沢市，20180908
- 1841082** 青木 芳隆、岡田 昌裕、兜 貴史、谷尾 信、大江 秀樹、小林 久人、糸賀 明子、堤内 真実、関 雅也、稲村 聡、多賀 峰克、土山 克樹、福島 正人、松田 陽介、伊藤 秀明、横山 修：住民健診受診者における過活動膀胱症状と前糖尿病の関係，第461回日本泌尿器科学会北陸地方会，臨床研究，金沢市，20180908
- 1841083** 小林 久人、堤内 真実、稲村 聡、関 雅也、多賀 峰克、福島 正人、松田 陽介、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修：当院における下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌の臨床的検討，第22回北陸腎泌尿器癌研究会，金沢市，20180908
- 1841084** 土山 克樹、谷尾 信、関 雅也、松田 陽介、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修：歩行障害で発症し、急速に下肢の拘縮をきたした進行性膀胱癌の1例，第462回日本泌尿器科学会北陸地方会，症例報告2，金沢市，20181202
- 1841085** 兜 貴史、伊藤 秀明、青木 芳隆、松田 陽介、福島 正人、土山 克樹、多賀 峰克、関 雅也、稲村 聡、堤内 真実、小林 久人、大江 秀樹、谷尾 信、横山 修：間質性膀胱炎・膀胱痛症候群(IC/BPS)における膀胱鏡と病理所見の特徴について，第462回日本泌尿器科学会北陸地方会，臨床研究，金沢市，20181202
- 1841086** 青木 芳隆：泌尿器科医をどう動かす？排尿ケアにおける看護師・療法士への期待，北陸排尿自立実践セミナー，金沢市，20190220
- 1841087** 小林 久人、土山 克樹、松田 陽介、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修、黒川 哲之、島田 憲次：尿道粘膜欠損を伴わない尿道下裂の一例，第463回日本泌尿器科学会北陸地方会，金沢市，20190323
- 1841088** 関 雅也、査 新民、稲村 聡、多賀 峰克、松田 陽介、青木 芳隆、伊藤 秀明、横山 修：心理ストレス負担ラットの膀胱機能におけるCorticotropin-releasing factorの役割，第23回北陸泌尿器科Basic Research Meeting，金沢市，20190323
- 1841089** 稲村 聡：排尿筋過活動の背景因子についての検討，第9回UDSフォーラム，高知市，20190216
- 1841090** 小林 久人：当院における下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎細胞癌の臨床的検討，第47回福井泌尿器科フォーラム，福井市，20181115
- 1841091** 土山 克樹：前立腺癌終末期管理の検討-治療終了の意思決定の有無と以後の経過に関して-，福井県泌尿器科医会9月例会，福井市，20180920
- 1841092** 稲村 聡、伊藤 秀明、小林 久人、谷尾 信、堤内 真実、多賀 峰克、横山 修：「血清CRP値と前立腺の慢性炎症ならびに下部尿路症状との関係」，第31回北陸排尿障害研究会，金沢市，20180701
- 1841093** 土山 克樹、伊藤 秀明、横山 修：当科における前立腺癌終末期管理の後方視的検討-治療終了とそれ以降の対応について-，第23回北陸前立腺癌研究会，金沢市，20180623

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

- 1841094** 松田 陽介：OAB治療の最近の話題，第48回福井泌尿器科フォーラム，福井市，20190117

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

- 1841095** 秋野 裕信：患者安全のためにあなたができること，第73回富山県医学会，富山市，20190127
- 1841096** 秋野 裕信：医療安全のために求められること，医療安全研修会，敦賀市，20181114
- 1841097** 横山 修：生活習慣病と排尿障害～前立腺の炎症を含めて～，第16回湖北排尿障害懇話会，長浜市，20190314
- 1841098** 横山 修：生活習慣病と過活動膀胱の気になる関係，OAB治療の明日を考える会，鹿児島市，20190228
- 1841099** 横山 修：生活習慣病と過活動膀胱の気になる関係，第9回佐世保排尿障害フォーラム，佐世保市，20190207
- 1841100** 横山 修：福井県住民健康診査から下部尿路機能障害の実態に迫る，第4・5回生物統計・疫学公開講演会，沖縄，20190201
- 1841101** 横山 修：生活習慣病と過活動膀胱の気になる関係，第38回埼玉県西部地区泌尿器科研究会，さいたま市，20190126
- 1841102** 横山 修：過活動膀胱の最新の知見～夜間頻尿も含めて～，第25回埼玉排尿障害セミナー，さいたま市，20190125
- 1841103** 横山 修：『夜間頻尿と薬物治療、生活習慣病』，第14回山形臨床泌尿器科懇話会，20190109
- 1841104** 横山 修：『生活習慣病と排尿障害』～前立腺の炎症を含めて～，臨床医のための治療セミナー-排尿障害を考える-，出雲市，20181220
- 1841105** 横山 修：夜間頻尿と薬物治療-最近の話題を含めて-，第16回Urology Study，福岡市，20181204
- 1841106** 横山 修：排尿障害と生活習慣病，泌尿器科学 社内研修(小林化工)，あわら市，20181101
- 1841107** 横山 修：夜間頻尿と薬物治療～最近の話題を含めて～，Osaka Urology Conference，大阪市，20181013
- 1841108** 横山 修：生活習慣病と排尿障害の気になる関係，敦賀市医師会学術講演会，敦賀市，20180808

業績一覧

- 1841109** 横山 修: OAB今後の展望～最新の知見も含めて～, トビエース発売5周年 記念講演会in大阪, 大阪市, 20180729
- 1841110** 横山 修: 下部尿路症状と生活習慣病～夜間頻尿と高血圧の関係を紐解く～, Web講演会, 20180629
- 1841111** 横山 修: 生活習慣病と過活動膀胱の気になる関係, 滋賀県OABフォーラム, 大津市, 20180609
- 1841112** 横山 修: 生活習慣病とOAB (過活動膀胱), かかりつけ医のための泌尿器疾患セミナー, 20180526
- 1841113** 横山 修: 生活習慣病と排尿障害の気になる関係, OABフォーラムin金沢, 金沢市, 20180523
- 1841114** 横山 修: ご存知ですか!?生活習慣病と過活動膀胱の関係, 生活習慣病と過活動膀胱治療を考える会, 富士市, 20180515

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1841115** 青木 芳隆: 現場は変わる! 排尿管理の取り組みの意義とその効果, 実践に学ぶ排尿管理セミナー-排尿ケアチームを成功に導くポイント-, 千代田区, 20181006
- 1841116** 青木 芳隆: 過活動膀胱に関する最近の話題, 第19回越水会セミナー, 福井市, 20181103
- 1841117** 青木 芳隆: 過活動膀胱に関する最近の話題, 第19回越水会セミナー, 福井市, 20181103
- 1841118** 青木 芳隆: 現場は変わる! 排尿管理の取り組みの意義とその効果, 実践に学ぶ排尿管理セミナー-排尿ケアチームを成功に導くポイント-, 千代田区, 20181006
- 1841119** 横山 修: 睡眠障害・夜間頻尿と転倒・転落, 第5回多職種学際シンポジウム 教育セミナー2, 福井市, 20180916
- 1841120** 横山 修: かかりつけ医におけるOAB治療のポイント～生活習慣病とOAB～, 過活動膀胱 (OAB) WEBシンポジウム, 20180625
- 1841121** 横山 修: かかりつけ医におけるOAB治療のポイント～生活習慣病とOAB～, 過活動膀胱 (OAB) WEBシンポジウム, 20180625
- 1841122** 横山 修: 睡眠障害・夜間頻尿と転倒・転落, 第5回多職種学際シンポジウム 教育セミナー2, 福井市, 20180916

c. 一般講演 (口演)

- 1841123** 青木 芳隆: 初回治療が有効でなかったOABに対する次の一手, 福井県泌尿器科医会4月例会 トビエースエキスパートセミナー, 福井市, 20180426
- 1841124** 青木 芳隆: 夜間頻尿とOABの疫学: 最近の話題, 第15回夜間頻尿を考える会, 福岡市, 20190302
- 1841125** 伊藤 秀明: 当科におけるT1腎腫瘍に対する術式の変遷, 福井県泌尿器科医会三月例会, 福井市, 20190328
- 1841126** 稲村 聡: 前立腺肥大症の炎症に対するタダラフィルの有効性を考える, 福井県泌尿器科医会10月例会, 福井市, 20181025
- 1841127** 関 雅也: 心理ストレスが排尿機能に及ぼす影響についての実験的研究, 第19回越水会セミナー, 福井市, 20181103
- 1841128** 小林 久人: 急性冠症候群のため腎移植中止となった一例, 第13回北陸腎移植検討会, 金沢市, 20181027
- 1841129** 横山 修: ベタニス発売7年間のエビデンス, Betanis Evidence Forum, 東京, 20180915
- 1841130** 堤内 真実: 当院における高齢去勢抵抗性前立腺癌に対するドセタキセル療法の検討, 福井県泌尿器科医会, 福井市, 20180531
- 1841131** 横山 修: 生活習慣病と排尿障害～高血圧を中心にして～, 福井県泌尿器科医会4月例会 トビエースエキスパートセミナー, 福井市, 20180426

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(G) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者
----	------------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	膀胱からの水再吸収、 アクアポリン分子は夜間多尿の解決策と成り得るか	横山 修		2018	10270000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	腎癌における microRNA-204による オートファジー制御の	伊藤 秀明		2018	2470000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	生活習慣病に伴う難治性LUTSの克服：慢性炎症と組織リモデリングに着目して	関 雅也		2018	2730000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	神経可塑性の阻害を 目指した脊髄疾患由来 排尿障害に対する新規 治療ストラテジーの 構築	山内 寛喜		2018	2210000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	微小乳頭型膀胱癌を用いたMUC1がPD-L1へ及ぼす影響	品川 友親		2018	1690000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	夜間頻尿の変動は その関連疾患の変化を 察知する代用マーカー となりうるか？	青木 芳隆		2018	1170000
厚生労働省科学研究費補助金	難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）	間質性膀胱炎の患者登録と診療ガイドラインに関する研究	横山 修		2018	

(B) 奨学寄附金

受入件数	10
受入金額	9800000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会（全国レベル）	共催者	第5回多職種間学際シンポジウム	20180916-20180916	福井市

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本老年泌尿器科学会	理事（理事）	横山 修
日本排尿機能学会	代議員（代議員）	横山 修
日本泌尿器科学会	代議員（代議員）	横山 修
日本排尿機能学会	理事長	横山 修
日本女性骨盤底医学会	理事（理事）	横山 修
日本骨髄障害医学会	評議員	横山 修
日本老年泌尿器科学会	評議員（評議員）	横山 修
日本Men's Health医学会	理事（理事）	横山 修
日本アンドロロジー学会	評議員（評議員）	横山 修
日本排尿機能学会	理事	横山 修
日本排尿機能学会	代議員	青木 芳隆
日本小児泌尿器科学会	一般会員	青木 芳隆
国際禁制学会	一般会員	青木 芳隆
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	一般会員	青木 芳隆
日本排尿機能学会	代議員	松田 陽介
前立腺癌密封小線源永久挿入治療研究会（前立腺シード研究会）	一般会員	松田 陽介
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	松田 陽介
日本排尿機能学会	一般会員	松田 陽介
日本癌治療学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌学会	一般会員	伊藤 秀明
日本泌尿器科学会	一般会員	伊藤 秀明

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他

- 1841132 松田 陽介：ふくいのできる医師相談室 男性の更年期障害 改善策は？（福井），20190221
- 1841133 稲村 聡：福大病院まちなかラジオ（福井街角放送），前立腺肥大症，20181107
- 1841134 堤内 真実：福大病院まちなかラジオ（福井街角放送），女性の尿もれ，20190306